

# 国際融合文化学会

International Society for Harmony & Combination of Cultures

ISHCC ニュースレター 第3号 (2001.05.10)

**モットー：全ての生あるものがその「生」を享受し全うしうる調和を創造すること**

## ISHCC 国内第二回大会のご案内

2001年3月26日(月)に日本大学会館(市ヶ谷)でISHCC国内第一回大会が開催されましたが、続いて2001年5月12日(土)、13日(日)に京都で第二回大会を開催することになりましたので、ご案内します。

日時： 5月12日(土)13:00より5月13日(日)15:10まで

会場： ラクトスポーツプラザ(RACTO-B)6F

(ラクトスポーツプラザは新幹線京都駅より東海道線(2番ホーム発)列車に乗って一つ目の「山科駅」下車、すぐ前がホテルブライTONシティ山科」TEL075-502-1111で、その隣りです。)

ISHCC 国内第二回大会プログラム		
12日(土)	12:30-12:50	受け付け
	13:00-	総合司会 木佐貫 洋、ISHCC事務局次長
	13:00-13:05	開会、大会会長挨拶 山田 正雄 (愛知学泉大学教授)
	13:05-13:15	基調講演 上田 邦義 ISHCC会長 (下表)
	13:20-16:30	研究発表 (下表)
	17:30-19:30	懇親会 (かしくコルドンブルー 南禅寺店、注1)
13日(日)	09:30-10:40	能楽実技入門 (下表、注2)
	10:45-11:10	講演 (下表)
	11:10-12:00	英語能舞 講演と実演 (下表)
	12:00-13:00	昼食
	13:10-14:50	講演 (下表)
	15:00-15:10	閉会の挨拶 上田 邦義 ISHCC会長
	15:10-	フリー・トークまたは市内研修、解散

注1: かしくコルドンブルー 南禅寺店、地下鉄 蹴上 駅下車、徒歩7,8分、会費6000円

注2: 能楽実技入門 参加者は白足袋(もしくは白靴下)と舞扇(あれば)またはどんな扇でもご持参下さい。(ない方には白扇を用意します) 服装は洋服でも和服でも 普段着でかまいません。

講演、研究発表予定 (12日)		
1	基調講演：融合文化の意義について	ISHCC 会長、日本大学大学院教授 上田 邦義
2	研究発表：「高砂」における関心遠目 - 宗片邦義の謡い しじまの瞬間的直感 -	日本大学大学院生 川田 基生
3	研究発表：シェイクスピア作品と能との融合への期待	同、菊地 善太

4	研究発表：真の実存主義者 和尚について	同、宮西 直子
5	研究発表： Pearl S. Buck: House of Earth 三部作の一考察	同、今清水 功
6	研究発表：融合文化文学論研究 - シェイクスピア能の場合 -	日本大学大学院生 西岡 妙子
7	研究発表：吉井勇書誌の試み - 伝記 全集への基礎作業として -	日本大学大学院修了 貫井 正也

能楽実技講座 及び 講演予定 (13日)		
1	能楽実技入門： 謡い：高砂』から祝言小謡(しゅうげんこうたい) 高砂や。この浦舟に帆をあげて」約30分 仕舞：熊野』から立ち出でて。峰の雲」約1時間	ISHCC 会長、日本大学大学院教授 上田(宗片)邦義 (UEDA MUNAKATA Kuniyoshi)
2	講演：禅意識と尺八 Zen Awareness and Shakuhachi	日本大学大学院講師 M arcus GRANDON
3	講演と実演：英語能舞「ハムレット」 Noh Dance with English Noh Singing "Noh Hamlet" (Solo Performance with Lecture)	ISHCC 会長、日本大学大学院教授 上田(宗片)邦義 (UEDA MUNAKATA Kuniyoshi)
4	研究発表：元代詩集『蒲室集』の日本における受容	京都大学大学院生 孫容成
5	講演：日常生活における詩について The Place of Poetry in Ordinary Life	成城大学講師 Frances CAUSER
6	講演：My Teaching Experiences with Japanese Children 日本の子供たちへの私の英語教育法	愛知大学講師 Joseph BLUTE
7	講演：Traditional Theatres in Malaysia: Bridging Cultures, Harmonizing Peoples	マレーシア大学教授 Solehah ISHAK

新緑の京都は本当に素晴らしいです。ぜひこの機会に京都まで足をお運びください。能の舞台のメッカで、能に親しんでみませんか。

会長 上田 邦義

## ISHCC 国内第一回大会、大成功

2001年3月26日に、日本大学会館で、ISHCC 国内第一回大会が開催されました。約50名の参加があり、7つの研究発表が持たれました。各自の研究発表の題目、発表者は下記のとおりです。

秋山正幸 ISHCC顧問からは「全体的に学際的な(融合的な)視点が好き。」という総評がよせられ、懇親会では、上田会長から「心 言葉 行為」というキャッチフレーズで、「この世で大事なものの三つ。心、言葉、行為。どれか一つ違っていても、他の二つが台無しになる。」とお話がありました。

ISHCC 国内第一回大会 研究発表プログラム		
1	研究発表：手話詩リズム研究と能 --- ろう文学の可能性を探る ---	日本大学大学院修了 棚田 茂
2	研究発表：相克するJoe Christmas とJoanna Burdeo --- 沈黙の空間と発火しなかった二発の弾丸 ---	同 石井 洋子
3	研究発表：ヘンリー・ジェームズ『ある婦人の肖像』 --- 経験の毒盃 ---	同 坂本 典子
4	研究発表：Theodore Dreiser, An American Tragedy 研究 --- アメリカン・ドリームの帰着点 ---	同 吉田 友明
5	研究発表：子規との邂逅 --- 糸瓜匂から見える世界 ---	同 木佐貫 洋

6	研究発表：吉井勇文学における『昨日まで』の位置	同、貫井 正也
7	研究発表：夏目漱石『門』の世界	同、高橋 明美

国際融合文化学会各位

## 2000 年度 国際融合文化学会 収支報告

歳入				
学会費	¥350,000			
		内訳	人数	小計
		¥2,000	17	¥34,000
		¥3,000	8	¥24,000
		¥30,000	9	¥270,000
		次年度以降分	(7)	¥22,000
	小計		34	¥350,000
懇親会費	¥76,000			
		内訳	人数	小計
		¥1,000	1	¥1,000
		¥3,000	25	¥75,000
	小計		26	¥76,000
合計	¥426,000			
歳出				
懇親会費	¥90,000			
		内訳	人数	小計
		¥3,000	30	¥90,000
	小計			¥90,000
事務経費	¥0			
合計	¥90,000			
来期繰越金	¥336,000			

以上の通り報告します。

2001年3月31日 会計係 竹内 正人 (事務局次長)  
 齊藤 美紀  
 菊地 善太

## 会計監査報告

私、五十嵐雅郎は、2000年度の学会の収支報告書につき、4月28日これに関連する各種領収書をチェックした。そしてこの報告書は、同年度の学会活動の収支を適正に表示していると認めるものである。

国際融合文化学会

監事 五十嵐 雅郎